

丸東北日新報

刊休無中
日町十番地平白銀
日新報社東北白銀
電話七五七

社説

平町議政戦も、普選最初の戦いである關係上、新人揃いの候補者が出馬の立の存様である。

普選の使命と、意義とは既成政黨の試練に非ずして、大衆無産者の爲の政治的教器でもあり、選挙精神の徹底を期するのであると同時に、立憲治下に於ける國民の政治にたいする觀念を養ふものである。

既成政黨が國家の政策を弄

して以來四十餘年その間立憲政治の要諦を全國民に知らしむべきにも拘らず常に政黨擴張と政權の争奪とのみに没頭し眼底に國民なくその精神に國家なき態度を保持して、議會に望めばブルジョア階級の走狗となり或はその番頭となり或は其の利權をあまり資本家と結託して大衆無産者を搾取す。外には果して立憲政治の精神をおもて遂に識者をして昭和維新の聲あらしめたるもの、實に既成政黨の千古に負はざるべからざる一大罪惡である。

民族的精神を以て今日視る

が如き文化の殿堂を建設したのである。世界に冠たるの日本は内治外交に於て、又國際的經濟戰に於て、独自の手腕と力量とを示して來たのである。維新改造成つて以來、驚くべき急速な進出を遂げ來つて近代文明は、世界の借衣である。

と云はるゝも、民族独自の精神を以て、その借衣の文化を既に脱ぎ棄てた許りでなく、今や日本大和民族自身の創造的現代を現出せしめたてはない。

日清日露の二大戦の直後日

本は、大きい悩みと、そのまぬがれざる試練の二大段階を経て文化の殿堂を創造したものである。國際的經濟戰は、明かに民族闘争であるのである。この闘争は文明の没落までの永續性を有することであらう、そしてその民族の中に唯一の光輝ある歴史と、建國精神を有するものは、實に我が大和民族それ自體のみではないか。近代文化は、既成政黨に負ふ所何ものもな

彼等は醜劣な政黨の擴張

をなす許りでなく、政權争奪に日も是れたらならざる時吾等は刻苦してその民族の向上に邁進したのである。森林に、海邊に、工場に農家にそして又學究の徒は國家の源泉となり、兩者相俟つて近代文化の本質を成したものである。

政黨が平町議戦にたいしその自治體の運用の代表者である町會議員候補者に、公認の名を冠せしめてあくまで政争化せんとする事は、彼等は彼等の政黨的偏執は自治體の何たるかを知らざる許りでなく、進んでは自治精神を破壊するものでなく何んであらう。

既成政黨の罪惡史は國民の

前に幾度暴露されたであらうか、しかるに尙括然として自治體の組織精神までも破壊せんとするこゝとは、斷じて許すべからざる行跡である。政黨が公認候補者を擁立する事は選挙の精神を理解して居るであらうか、時代は既に政治的自覺の

平三萬町民諸君も亂立せ

町議候補者の中から、自身の創意によつて、その代表者を選ばざるべきで

國氏は起つてよい日本を造る爲め、普選最初の選挙を淨化せねばならぬ。

今日迄に廿七名立候補

平町々議選舉も十六日迄に於ける正式届出者が一躍二十七名の多きに達したので愈々政戦は本舞臺に入つた

突如又ツト現はれた一二丈もある大坊主

昨夜赤井村諏訪神社境内に出會つた村民青くなつて歸宅

近頃にはない怪異

横濱から汽船に乗る

平町商業學校三年生六十餘名は吉田校長外二三教諭に引率され來る十八日から八日間の豫定で關西方面へ修學旅行をする事に決定したが同校では來年から從來の

踏切問題を是非解決する

と木村代議士語る

平町踏切問題では例の平町大工町踏切問題に就て鐵道大臣に陳情書を提出したが更に之れが底を計る爲め郡出身の木村代議士に依頼して政府筋に猛運動を起す事となつた右に就て木村代議士は語る

立候補者

感であつたらう……がそれはそれとして、今度の町議出馬は君としても又君の區である城山としても總ての點に於て當選し當選せしめる様一段の努力を要する事であるから緊要一番、奮闘の上目出度く當選して再び町の爲めに盡されん事を祈る次第である。

名乗りを挙げた平町議の各候補

色々の意味に於て、兎に角有名な君は、たしかに腕の人であり、舌の大である。町長選舉に際し一部の人が君にたいして老齢職に堪へざる……など云ふ酷評を試みた様であつたが……然し君は決して職に堪へざる程の不甲斐なき男じやない、論よ

青沼鉾太郎君

り證據は現に平信用組合の理事として縦横無盡に自己の腕を振ひつゝあるのを……話は一寸舊聞に屬するが平信用組合の役員選舉の時に平商業の校長吉田君が筆者にたいしてこんな事を話せられた事がある。

柳下元吉君

紺屋町から民政を名乗つて出馬した柳下君は材木商を営んである一商人ではあるが、中々政治方面には趣味タツプりの人である事によつて、民政黨

波を打つて居るとして、正しい意味に於て國民自身が自身の代表者を選ばざるべきで、自治體の基調となるべき精神もそこから出發せねばならぬ。

がしかし確實に名乗りを揚げるのはどうしても二十二、三間のを郵船會社の大汽船に便乗する事にしたが在平各中等學校はじめての試みだけに一般から非常に期待されてゐる

本日は於ける立候補届の提出者は左の如し

- 宇佐美友二郎 (中)
- 野崎滿藏 (全)
- 馬目元吉 (全)
- 柳下元吉 (全)
- 吉田治三郎 (政)
- 石山品藏 (中)
- 根本五郎 (中)
- 吉村安次郎 (中)
- 千葉彦治 (中)
- 鈴木光吉 (中)
- 佐藤岩次郎 (民)
- 荒川敏實 (政)
- 荒川恒次郎 (中)
- 加納五郎 (中)
- 花澤五郎 (中)
- 佐々木健一 (政)
- 櫻井清 (全)
- 萩原義雄 (全)
- 高橋三郎 (中)
- 青沼鉾太郎 (全)
- 青沼直良 (全)
- 國府直良 (全)
- 佐々木龍若 (中)
- 遠藤林松 (民)

選挙印刷物大勉強
本社電七五七七

石城部會でも重きをなしてゐる人物である。又君のタイプは、ごつたらんて、石城政友の闘士鈴木辰三郎氏にホーフツである事によつても有名な事だぞうだ！君は町議戦には勿論初陣であるが未だ四十六歳と云ふ春秋……？に富むんでゐる人物であるから今後の同君の活躍は相當期待される事が多い事であらう……は氏を擁立した人々の鼻うごめかしてゐる處である、君の地盤からは、加納五郎君、同志の吉田君などが出馬するので何にしてもしごきを削る程の戦ひは當然免かれざるものである。

四ツ倉の情死

云々の記事はゴ報

實は若い男女の
チワ狂ひにて御座候

十三日午後十時頃双葉郡久名と同日午後七時頃手に手ノ濱海岸山林内で若き男女を取つて食後の散策としやが情死を遂ぐと某々二、三れたがその際ヤスがカルモ新開が

報導し たが何も知らしたいか口走つたので文あはてふたためき調査したとて早々歸宅したのを誤り傳ころ情死などいふことはへられたものこの事實を無く同郡久ノ濱町自動車警署知つた

業飯島長治方雇運轉手山田 四ツ倉 署ではホット文吉(二〇)假名が豫て想思安心し又本人たちは私達のの仲である同町酒小賣商市幽霊ぢやないといふまじ込ん五郎長女佐藤ヤス(一八)假である

鹿島に違犯か?

平署の活動開始で

成り行き注目さる

石城郡地方に於ける町村會議員選舉戦は愈々期日の迫りにつれて隨所に可成りの激戦を演じてゐるが萬一の二日は田中首相始め各大臣を考慮して警戒に務めを招待することになつたので居た平警察署高等課では同町では全力を擧げて祝突如十四日に至り某々方面賀準備に多忙を極めて居るに對して一大活動を開始しが平土木監督所では今朝の同署が此の活動を開始し野の名士が列席するため折たのはソク聞するに過般石角來郡するのに從來のま、城郡下に於ける第一回の選の悪道を行せむること擧戦たる鹿島村の村議戦には遺憾であると云ふところ當り〇〇の違犯行為あつたから泉、小名濱間、湯本、こは此程發覺平署の活動を見るに至つたものらしい

道路が
悪くては

夫を雇ひ工事を急いでゐる

製劑者 宇佐美藥劑士 ウサミの子宮藥



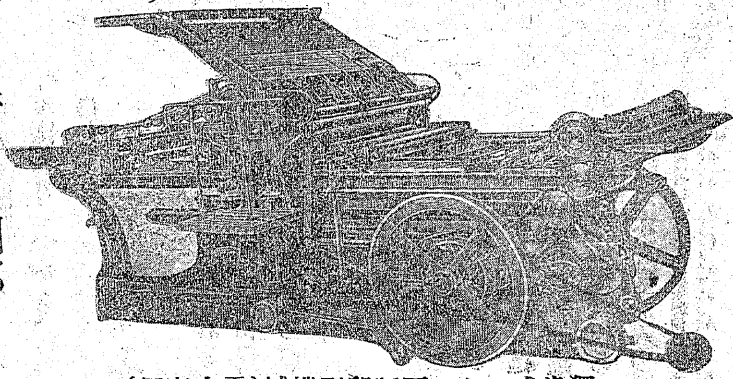
◆手輕るに出来る局所療法

子宮患部を整へコシケを止める
○最も簡易な「子宮球」の使用法本藥は至極く手輕るにして秘密に家庭で治療が出来しかも金のかかるらない手數のかからない安全な療法薬で又流出等の恐れなく子宮の患部に直達し、殺菌消炎癒着等の微妙な作用をなし立ち働き旅行等にも差支なく腰の廻り、ほこほこ温まる靈藥でその効果は等しく實驗者の驚嘆されるるところであります、効能書にある通り必ず効顯あり。

發賣元 平町田町 宇佐美藥局 (定價五五分金貳圓)

石版活版の印刷物

早く良く安く
最も美術的に
調製致します
是非御用命
下さい



(用應力電)機機刷印版石シマ式逸獨

東北日日新聞印刷部
丸山印刷所
石版と活版
平町前通り 電七五七

平町五丁目
材木店
店主龍口豊

特賣!

たひら正宗 福島縣清酒品評會一等賞受領
花 春 同優等賞受領
鹽屋最上醬油釀造元

山崎合名會社
平町土橋 電話一〇番二七番
東京上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七二番

既に高評ある御藥酒

滋養 栗守酒
強壯 栗守酒
政戰の準備とは何にか!! 曰く硬質なる筋肉と強健なる神經なり
此れ等は朝に夕にの栗守酒一杯を用ゆる事に依つて御満足を得られん 四合瓶 一、九〇

大平屋藥舖
平町一丁目
電話六四二番

謝恩週間!!! 十六日ヨリ八日間

英傑秀吉 連日満員
日活作品 瀧花久子 主演 事故の爲本週に繰延ま
シヤズ曲 沙バク 陽が落ちて 全
映 阿ラビヤの唄 獨唱 島津正之 説明 若月柯村
松竹提供映画 市川右太衛門 主演 高堂國助助
維新血史 高杉晋作 全
明治維新の騷然たる世相を寫し英傑の面目躍
如としてホーフツたり 説明 泉 天明

日活超大作映画 河部五郎 酒井米子 主演
捕物覺書 八百藏 吉 全
河部五郎映画界引退最後の大作 説明 石井 孝
助演 葛木香一 尾上桃華 高勢實花 柳あやめ
爲謝恩 金十錢 日活映画封切 平館
普席席 金十錢 松竹映画封切

十七日替り巨彈又巨彈
大帝キネ特作篇 脚色 小國比沙志
主演 市川百々之助 大努力篇
豪傑 岩見重太郎 七卷
難波戦記の花と散つた天下の怪傑薄田隼人の
青春時代の旅日記である
帝キネ 深川ひさし作品
藤田林太郎 濱田格 主演
悲劇 良人對妻 六卷
小島洋々 歌川八重子 助演

總指揮 マキノ省三 監督 二川文太郎
實川善胤 阪東三右衛門 共演
愚戀の巻 骨 肉 全十卷
澤田敬之助 大林梅子 生野初子 新見映郎 助演
◎マキノ超特作 監督 川浪良太 快傑篇
吾等のマキノ智子 主演
現代劇 アラビヤの歌 封切
小唄映画 津村 博 荒木 忍 助演 獨唱 島津正之
沙漠に日が落ちて 夜となる 戀人よなつか
しい唄を歌はうよあの淋しい調べに今日も
涙流さう 戀人よアラビヤの唄を歌はうよ
金十錢の割引券御 有聲座
利用下さは